

わたしの
ハマライフ生まれ育った場所は
特別な場所

～鈴木 のぞみ さん～

【東京都→天竜区龍山町】

2021(令和3)年に東京都から天竜区龍山町へUターンし、音楽家として活躍しながら浜松での暮らし「ハマライフ」を送っている鈴木 のぞみ さんにお話を伺いました。

—— 最初からUターンを決めていたのですか

中学卒業とともに生まれ育った龍山を離れ、関東や海外で過ごしました。「20年後には必ずここに帰ってくる」という強い気持ちをもって準備を進め、それが実現できました。

天竜川の水面に反射した太陽の光が家の天井に映ったり、窓から見える山々の緑が色濃くなったり：そんな、日常の何でもないここでの時間は、私にとってとても大切なものでした。

—— 今どんな仕事をしているのですか

作曲などの音楽の仕事と、海外メーカーのマーケティングコンサルタントをしています。海外の人を相手にすることもありますが、ここ龍山でも可能です。リモートワークが一般的になったこともあり、今では多くの仕事が自宅でもできるので、「自分の豊かな暮らし」ができる場所を優先して考えられますよね。

—— 天竜川をテーマに曲作りをしていると聞きました

天竜の四季の風景を音で伝える、というコンセプトで「天竜四季の森音楽団」を主宰し、音楽制作や演奏活動を行っています。楽器を持って天竜川のほとりや、水窪の山など、天竜のさまざまな場所で曲作りをすることもあります。

—— 地域との交流も定着しているようです

地域のお父さんやお母さんたちが、龍山にきたアーティストたちに、伝統文化や食文化について教えてくれたり、お茶摘みを一緒にしてくれたりしています。地域の人たちは自分の得意分野があり、先生役を喜んで引き受けてくれるので、アーティストたちも興味津々で話を聞いています。

—— 地域の人たちもアーティスト

小さいころからすぐそばにいてくれた近所の人たちが、実は、その道の技術を極めた「アーティスト」だと再認識しました。とても頼もしく、憧れの存在です。ここにはすてきな景色やおいしい物もあるけれど、龍山地域の魅力は「人」なのだと思えました。

—— Uターンする前と後で地域の変化を感じますか

人口が減ったり学校もなくなったりと、地域では寂しい話題が多いかもしれませんが、地域の皆さん一人一人のエネルギーは、昔も今も変わりません。人のパワーをいつも感じています。ここに住む人々が重ねてきた文化や伝統、ここに見える風景を、私にできる「音楽」を通じて伝えていきたいと思っています。

—— Uターンを考えている人にメッセージをお願いします

その土地で生まれ育ったことはとてもラッキーなこと。なぜなら、いつでも帰る場所があるからです。いつだって戻ってくれば良い、理由は小さくても何でもいい。ここにいたい、誰かのそばにいたい：、Uターンしたのだから何か地域に役立つ大きなことをしなくては！と重く考える必要はありません。自分にできる範囲で、ゆっくりと地域に恩返しができるくらいだと思います。

自分がここにいて、豊かに穏やかに過ごすことが一番です。生まれ育った場所は、あなたにとって特別な場所なのですから。

